

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	無断外泊を頻回に行う利用者のために、時に施錠することがあるのでそれをなくしたい。	身体拘束廃止宣言を設けた。 日中の施錠をなくし、開かれた施設の中でその人らしく安心して穏やかな日々の生活を楽しむために次のことに努める。 1つ、身体拘束の廃止を決意し実行します。 1つ、介護技術の向上と研究に努めます。 1つ、開かれた介護を目指します。	平成22年度岩手県身体拘束廃止推進員養成研修を22年12月10日より、施設長が受講し自施設での60日間の実習を行っている。その間5回無断外出があったが、職員の意識の高まりで何度も情報交換し工夫をこらした結果、1月後半からは利用者様の落ち着きが見られ、玄関口までは行くが声掛けで戻るようになっている。	2ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。